

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 松居敬二
幹事 鈴木理之
会報委員長 伊豫田博明

No. 30

ロータリーの心を
Show Rotary Cares

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に

for your community
for our world
for its people

1997~98年度 RI会長 グレンW・キンロス

きょうの例会

第748回 平成10年2月24日(火)

友愛の日

先週の記録

第747回 平成10年2月17日(火)

晴

◆“我等の生業”

◆出席報告

会員 69(66)名 出席 47名
出席率 71.21%
前々回 2月2日 (修正出席率) 100%

◆ゲスト紹介

南山大学 英米科教授 ハリーレイ氏
村田 晃一氏
来日財団奨学生 ジョンポール君

ニコボックス

二村 聡君 木原さん先日はお世話になりました。
加藤 大豊君 長野オリンピック、ジャンプラージヒル個人、船木選手の金メダル、原田選手の136米のバッケンレコードの大ジャンプを着地点目前で観戦出来、最高の感動を味わって来ました。今日団体で大逆点日本念願の金を取りました。
水野 民也君 ①カーリングを見学しました。②東山別れのジックスをかえるのに立札をたててくれました。③孫が大学をうかりました。
池田 隆君、田部井良和君、渡辺 辰夫君 日本ジャンプ頑張れ!!
足立 一成君、萩原喜代子さん、林 哲央君、神崎住恵さん、中井 常雄君、鷺谷 龍男君、佐野 寛君、鈴木 理之君、田中 昭二君、舎人 経昭君、魚津 常義君、和田 正敏君、吉田 節美君 “キャンヘルプタイランド” ハリーレイ氏をお迎えして
青山 敏郎君、伊豫田博明君、河村 政孝君、小林 明君、久保田皓君、中根 三郎君、成田 良治君、西

野 英樹君、大口 弘和君、大谷 和雄君、佐久間良治君、鈴木 正男君、竹内 眞三君、谷口 優君、吉田 玄君 オリンピック、ジャンプ団体優勝が決定しました。おめでとう!!

小坂井盛雄君 満73才永らく生かさせていただきました。誕生日祝い。

西川 豊長君 誕生日祝い。

堀江 宏輝君 結婚記念日

(2/10分)

小林 明君 大谷さん名短付属高校ハンドボール優勝お目出度うございます。

水野 民也君 明日、いいことがあります。

成田 良治君 オリンピック開会式に参加しました。閉会式も参加の予定です。

山本 眞輔君 日展は県美ギャラリー、^{ゴモクカク}五黙会展は松坂屋で開催中です。御高覧いただければ幸いです。

吉田 玄君 節分例会では有難うございました。

秋山 茂則君、吉田 節美君 明日2月11日は建国記念の日。昔は紀元節といいました。2658年前、初代神武天皇が即位した日とされています。明治政府が決めた祝日です。

池田 隆君、三好 親君 本日ノーカード忘れてました。

伊豫田博明君、神崎 住恵さん、河村 政孝君、菊池 昭元君、小杉 啓彰君、久野 峯一君、松居 敬二君、松島 孝彰君、水野 宏君、水野 賀績君、水谷 祥督君、中井 常雄君、中根 三郎君、西野 英樹君、佐野 寛君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、竹内 眞三君、田中 昭二君、魚津 常義君、和田 正敏君 名古屋ユネスコ協会理事長 田川 清氏をお迎えして
足立 一成君、在田 忠之君、木原 喜造君、鷺谷 龍男君 誕生日祝い。

加藤 大豊君 長野オリンピック選手村、日本選手団八木団長以下日本選手の激励に行って来ました。夫人誕生日祝い。

小山 雅弘君、棚木 充明君、大谷 和雄君 夫人誕生日祝い。

青山 敏郎君、林 哲央君 結婚記念日。

鈴木(理)幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。
2. 会員、橋本邦美君が大阪転勤の為、退会される事になり、「半年足らずでしたが、この度社命により、大阪へ転勤の為、退会させて頂くことになりました。貴クラブの今後のご盛會を心よりお祈り致します。本当に有難うございました。」と御挨拶の手紙を頂きましたのでお知らせ致します。

和田国際奉仕委員長挨拶

会員の宮尾君より「キャンヘルプタイランド」についての話聞き、彼の義父は、このプログラムの1つ、建設プログラムに直接参加されているとの紹介を受けました。又、私の病院の看護婦長もこのプログラムに参加しており、松居会長も千種ロータリーとして、直接目で見える国際ボランティアに参加しようとの指示があり、ボランティア活動に対する基金ということで今回、奨学金制度による3年間継続事業に際しまして参加された17名の有志の方々からの基金を吉田エレクトよりお渡し頂きます。又17名の方々には奨学生より文通を通して交流が続くと思います。その時は宜しくお願いいたします。

キャンヘルプ基金を吉田エレクトよりハリレー氏に手渡し。



家庭奉仕ボックスより10万円を給食援助資金として寄付。また、17名の会員より奨学金プログラム等に計41万円を寄付

・キャンヘルプタイランド基金に寄付をされた皆さん……

在田 忠之君、二村 聰君、池田 隆君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、久野 峯一君、松居 敬二君、三輪 康君、宮尾 紘

司君、水野 民也君、中山 信夫君、西野 英樹君、大口 弘和君、大谷 和雄君、鈴木 理之君、和田 正敏君、吉田 節美君

ポール・ハリス・フェローピン授与

青山 敏郎君に、吉田エレクトよりピンが贈られました。

米山功労者メダル・感謝状授与

小坂井 盛雄君にメダルを、青山 敏郎君に感謝状が吉田エレクトより贈られました。



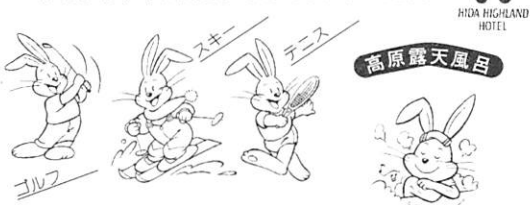
吉田会長エレクト挨拶

本日は松居会長、笹野副会長共によんどころない用事でお休みでございますのでピンチヒッターとして再三登板しまして誠に申し訳ありません。松居会長からは次年度の練習だからと言う事で引導を渡されました。少々時期が早過ぎる様でございます。

さて、先週2月12日名古屋守山ロータリークラブのホストに依ります、名古屋第2分区のIMがホテルナゴヤキャッスルで行われ、当然の事年々出席義務者として参加して参りました。今回のIMのメインテーマは「環境」でありまして、“自然との共生、水、緑、動物、そして人間”をキャッチフレーズに我々を取りまく環境についてロータリーアンが如何に行動す可きに就いて考える講演やスピーチ、及び心の源流を求めてのアトラクション等大変興味深い催しが盛沢山で最後まで退屈させない企画にホストクラブの皆様大変御苦勞された事と思いますが成功裏に終わったIMでございます。このIMの詳細につきましては後日環境保全委員の方からお話があると思います。

さて先般私指名されて1分間スピーチを5分位おしゃべりした様でございますが、これも環境に関係のある話で、北陸方面に降る酸性雪(雨)に若干ふれ、その発生源についてほんの少しだけお話をしましたがその後1月31日の中日新聞に同じ様な内容で酸性雪(雨)の記事がのって居り、記事を書いて居られる名大の中井名誉教授の研究では硫酸化物、窒素酸化物の汚染範囲は更に拡がり北緯15°付近を境に北半球に拡って

いろいろ、ゆったり。のびのび、ゆったり。



●お問い合わせは
飛騨ハイランドホテル
TEL(0577)75-2111
0120-610026

飛騨数河温泉
飛騨ハイランドホテル
岐阜県吉城郡古川町数河80-1

『どきっ』とする瞬間をあげたい。



株式会社セントラルファッション
〒467-0021 名古屋市瑞穂区榑深通り5-18
Call 052(836)6661 Fax 052(836)6667
http://www.ijnet.or.jp/CENTRAL.F-M.A/index.htm
E-Mail: central@bssnet.or.jp

居る事を発表されて居り地球規模での対策の必要性を論じて居られました。

しかし乍ら、これは外交的な問題もあります為これが確かに中国からの汚染物質が原因と断定はしていません、又中国でも日本への影響は現在調査中と云うにとどまって居る様でありますが中国の成長と汚染物質の脅威に悩む時が自然に接して居る様であります。外交の舞台で何とか解決出来ないのかと願って居る次第であります。

以上本日はI Mの御報告及び環境にまつわる酸性雪(雨)についてのパートIIをお話して会長の代理挨拶とさせていただきます。

□講演

“キャンヘルプタイランドについて”

南山大学 英米科教授 ハリーレイ氏
ボランティア 村田 晃一氏

給食プログラムとは、当初は、小学校、中学校、高等学校の生徒達に食事の費用として寄付されていたようですが、それではボランティアの活動として、余りはっきりしないとの理由にて、新しいプログラムができました。

その新しいプログラムとは自給自足の方法です。まず学校に池を堀り、魚を飼います。その池の周辺にニワトリ・ブタ等の家畜を飼い、それらのフンで魚を育てます。池の水を利用して畑を作り、その野菜で家畜を育てます。それらを育て、家畜や野菜を売ってお金にして、自分達の食事代とします。そして更に開発をしていくプランです。

奨学生プログラムに対しては、有志の方にお願ひし千種ロータリークラブの中からは17名の方に3年間の継続のプログラムに参加して頂きました。このお金は5%のみ「キャンヘルプタイランド」の事務費として使用され、残りのお金はキャンヘルプ基金に貯金されます。奨学金を受ける子供達は3月31日までに現地で推薦され、我々の方へ連絡が入ります。そして、7月末までに他のボランティアの方々とは再び現地へ赴き、種々のボランティアの活動をする予定です。その時点で一人一人に奨学金の授与がされます。

奨学金の授受方法ですが、子供達には直接現金は支給せず、その基金より学校に個人名義として支払う方法をとります。以前直接子供達に渡したことで、いくつもの失敗があり、1つの例として、子供が全てのお金を母親の病氣治療費に支払ってしまったことがありました。この子供の気持ちは十分に理解できますがキャンヘルプの目的とは反するとのことで、この支払を打ち切られました。

なお今回の基金はタイ東北部のLoc地区の学校とその生徒達に支給されます。

このLoc地区は、緑の大変美しい地域ですが、タイの中でも最も貧しい地区です。(文責 和田)

ローターアクトクラブよりお知らせ

・3月第1例会

日時 3月3日(火) 点鐘 19:00
場所 名古屋ガーデンパレス
テーマ 国際奉仕についての卓話
担当 国際奉仕委員会

・3月第2例会

日時 3月17日(火) 点鐘 19:00
場所 名古屋ガーデンパレス
テーマ 精神カウンセラー卓話
担当 社会奉仕委員会

その他の行事

- ・3月8日(日) 世界ローターアクトデー
名古屋第二分区合同清掃活動
場所 セントラルパーク
時間 10:00~12:00
- ・3月31日(火) 名古屋錦RCとの合同例会

例会変更のお知らせ

- 豊山一城北RC 3/10(火)、夜間例会の為18:30~
- 名古屋西南RC 3/12(木)、創立記念例会/第2回I D Mの為、日時詳細未定
- 名古屋昭和RC 3/16(月)、夜間例会の為18:30~
- 名古屋空港RC 3/16(月)を、東尾張分区I M参加の為3/15(日)春日井ロイヤルホテルにて10:00~
- 名古屋名東RC 3/17(火)、夜間例会の為18:00~
- 名古屋東RC 3/17(火)、I. D. Mの為、八事八勝館にて18:00~
- 名古屋北RC 3/20(金)、第3回I. D. Mの為、か茂免にて17:30~
- 名古屋港RC 3/20(金)夫人の集いの為、ホテルオークラレストランにて18:00~
- 名古屋空港RC 3/23(月)松本空港RCとの合同例会の為、キャッスルプラザにて18:00~
- 名古屋栄RC 3/23(月)親睦例会の為、木曾路瓦町支店にて
- 名古屋瑞穂RC 3/26(木)I. D. Mの為、場所未定で18:00~
- 名古屋守山RC 3/26(木)風雅な時を過ごす例会としてラ・メゾン・ブランシェ 覚王山店にて12:30~

□次回例会日(3月3日)

例会場工事の為、会場変更ラ・メゾン・ブランシェにて

ロータリーワールドより

■普通、先進国から開発途上国へ提供される援助に逆行して、コートジボアールのロータリアンからフランスのロータリアンへクリスマスの贈り物が届けられました。象牙海岸のアビジャン・リビエラ・クラブは、フランスのリヨン・シャボネリエ・クラブと協力して、25,000個の新鮮なパイナップルが無事に運搬されるように手配しました。“Sudvernor”（フランス語で南から北へ）と呼ばれた活動は、リヨンの貧しい家庭へクリスマスのご馳走にこの美味しい果物を贈るプロジェクトでした。

■南アフリカのユイテンヘーグの恵まれない住民は、インターアクターの指導で英語を習い、他の人への模範を示す役割を身につけています。メリーマウント・インターアクト・クラブ（ユイテンヘーグ南ロータリー・クラブ堤唱）の会員は、ホサ語を日常用語とする新入生の個人教師をつとめています。週に2回、インターアクターは、各自担当の生徒と会合し、英語でゲームをしたり読書したりして英語能力の向上を助けています。

■長期計画を旨とするロータリアンは、即興の行動にも長けています。米国オハイオ州のWeirtonロータリー・クラブの例会で、市議会議員が、公園のピクニック施設を塗装し直すのに十分なペイントは確保できたのだが、人手がないことを報告しました。例会は水曜日でしたが、翌木曜日には、クラブが35人のボランティアを動員してその塗装に乗り出し、2日間で完了させました。「地域社会全体のためになる活動で、ロータリーの存在意義はそこにあるのです」とクラブ会員の一人、ビクター・グレコ氏が語っていました。

■3つの国のロータリー・クラブが協力して、グアテマラの再植林事業を促しています。グアテマラのHuehuetenangoロータリー・クラブをリーダーとして、カナダと米国オレゴン州のロータリアンが、この中央アメリカの地域住民に特製のストーブを提供しました。グアテマラのTurbomac社によって開発されたストーブは、木材ではなくブタン・ガスを燃料とし、森林の保全に直接寄与する活動となりました。

中部経済新聞より 2月19日

RC・LCニュース



レイ教授宅に支援資金を贈る吉田会長（左）と和正国際奉仕委員長（右）

国際奉仕事業に着手

タイ児童の就学促進支援

名古屋千種RC

「タイの子供たちの就学を援助して」と、名古屋千種ロータリークラブ（和正敬二会長）は、新しい国際奉仕事業としてタイ東部の子供たちの就学促進を支援している。ライオンクラブ「キヤンヘル・ブライランド」（会長ハリー・レイ南山大学教授）を継続的に支援することし、十七日の例会で同グループに給食プログラム資金（十万円）と十五人分の里親資金（十五万円）を贈った。

同グループの話による。神に即したものであり、当と、タイ東部の貧しい地域では経済的理由から中学校まで行かない子供が多く、また田正敬国際奉仕委員長と資金不足のために学校給食を十分でなく、子供たちの栄養不足が深刻な問題となっている。ただ、物価の安い同地域では五百円で八百と二十五人の子供の一年間の食の給食が賄え、一万円で一人の子供が一年間中学校へ通えるという。

このため、同グループでは日本をはじめアメリカ、カナダなどの人々の協力を得て国際的なライオンクラブ活動を行っており、名古屋千種RCも「高齢者や弱者、恵まれない子供たちを支援して」とのロータリー精神を以て記した。

レイ教授は一次受取がたいので、タイの子供たちに代わって心からお礼を言います。こうした趣意の輪が広がっていくことに期待しています」と謝辞を述べた後、タイ東部の現状について記した。